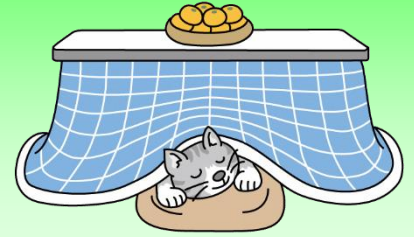


かわら版

川本家畜保健衛生所（西部農林振興センター 川本家畜衛生部）

〒696-8510 邑智郡川本町大字川本 265-3

TEL (0855) 72-9805 FAX (0855) 72-9811



高病原性鳥インフルエンザの侵入防止対策強化を！

今年も渡り鳥が飛来する季節になりました。

千葉県では国内今季初めてとなる低病原性鳥インフルエンザウイルスが野鳥糞便から検出されました。韓国においても野鳥糞便から低病原性インフルエンザウイルスが検出される事例が多数確認されています。

また、中国、台湾などアジアの近隣諸国では高病原性鳥インフルエンザが継続的に発生しており、いつ国内に侵入してきてもおかしくない状況です。

本病の発生予防には家きん舎への人や車両、野鳥、野生動物（ネズミ、アライグマなど）を介したウイルスの侵入防止対策が重要です。いまいちど飼養衛生管理基準を確認していただき、高病原性鳥インフルエンザウイルスの侵入防止を徹底しましょう。

なお引き続き、飼養家さんの毎日の健康観察を行っていただき、異常家さんの早期発見、早期通報をお願いします。（合津）

発生予防対策の重要ポイント

家きん舎の周囲にはウイルスが侵入する経路が多く存在しています。
今一度、**点検・確認**をお願いします！

野鳥等の野生動物の
家きん舎への侵入防止
(防鳥ネットなど)



農場に入る車両の徹底した消毒



小型の野生動物の侵入防止



家きん舎内に入る
人・物の徹底した消毒



野生動物対策

人・物・車両対策



第2回受精卵移植技術研修会を開催

当所では、毎年、管内の受精卵移植（ET）師と県立矢上高等学校（邑南町）の産業技術科動物コースの2、3年生を対象に、採卵・移植研修会を開催しています。今年度は10月25日に高校施設で邑南町繁殖農家の供卵牛から受精卵を回収し、同校および町内の酪農家3戸でETを行いました。採卵成績は正常卵が1個と残念な結果でしたが、高校生にET技術の一連の流れを学んでもらうことができました。（澤）



受精卵鏡検



移植



ET 技術講義



平成30年度島根県家畜伝染病防疫演習の開催

平成30年10月11日（木）、県立農林大学校（大田市）において、「10万羽飼養規模の農場で高病原性鳥インフルエンザが発生した」との想定で家畜防疫演習を行いました。

県では家畜伝染病発生時の初動防疫対応強化のため、昨年度末までに新たに備蓄資材保管庫を1ヶ所整備し、防疫措置に必要な備蓄資材を増数しました。今回の演習は初動防疫措置を円滑に実施するための検証として、午前中に発生時の初動防疫を行う県職員が、必要な備蓄資材を会場に運び、集合場所やサポートポイントなどの設営を行いました。午後は、県や市町の関係機関職員、JA、NOSAI 職員のほか、初めて自衛隊出雲駐屯地の隊員を参集し、集合場所やサポートポイントの運営および畜舎内作業（今回の演習ではケージに模擬鶏を収容した状態から捕鳥、運搬、炭酸ガス注入を実施）など発生時に各班・各係や参集者が行う一連の作業手順や動線の確認を行いました。

今回の演習で得られた意見や課題について検討を行うとともに、万一発生の際には関係機関と連携して防疫措置が迅速かつ的確に対応できるよう備えてまいります。（鈴木）



集合場所(健康調査)



集合場所(防疫服着衣)



サポートポイントのようす



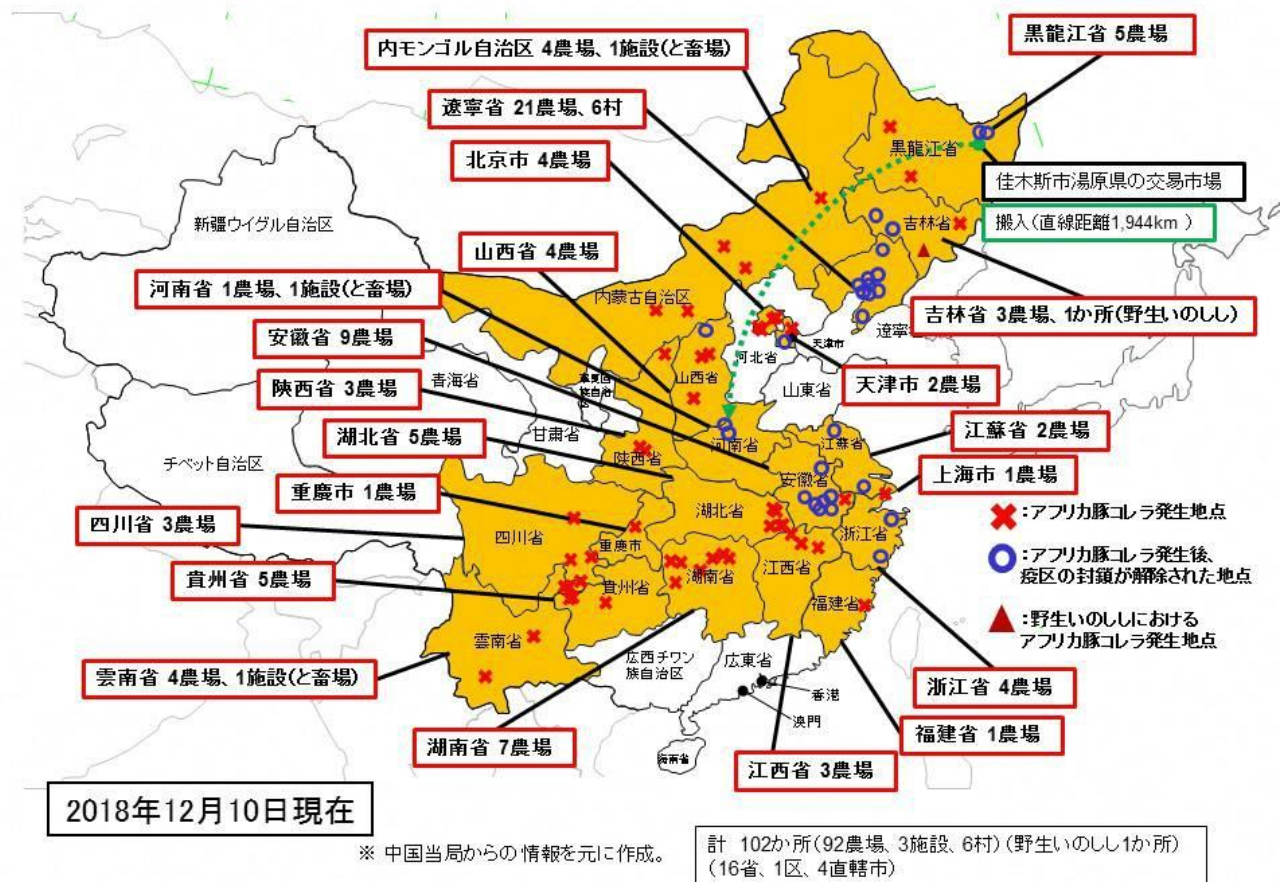
畜舎内作業（捕鳥・運搬）



中国でのアフリカ豚コレラの発生は収まらず

今年8月から中国で発生しているアフリカ豚コレラは、豚やいのししに感染し、発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の非常に高い伝染病で、中国の多くの地域へ拡大しています。また、10月と11月に動物検疫所において、中国からの旅客の携帯品から収去した豚肉製品についてアフリカ豚コレラウイルスの遺伝子検査を実施したところ、陽性が確認されました。

中国におけるアフリカ豚コレラの発生状況





26年ぶりに日本で豚コレラが発生！

今年9月に岐阜県岐阜市の養豚場で26年ぶりに日本で豚コレラが発生しました。その後岐阜県内において現在までのところ計4件の発生が確認されています。また、岐阜市内の野生のいのししでも豚コレラが確認されています。

豚コレラは、豚コレラウイルスにより豚やいのししが感染する病気であり、治療法はなく、強い伝染力と高い致死率が特徴です。

特徴的な症状は示しませんが、発熱、元気消失、食欲減退、便秘、下痢、結膜炎、歩行困難などがみられます。ウイルスは唾液、涙、糞便中に排出されて、感染豚や汚染された物品との接触によって感染が拡大します。(原田)



豚コレラの症状: 農研機構 HP より

アフリカ豚コレラおよび豚コレラの侵入防止に万全を期すため、豚及びいのしし飼養者、畜産関係者の皆様には、引き続き、飼養家畜の毎日の健康観察の実施、異常家畜の早期発見・早期通報、消毒による人・車両等を介したウイルスの侵入防止対策、野生動物との接触防止等の飼養衛生管理基準の遵守について万全を期するとともに、死亡畜及び堆肥等の適正な管理についてよろしく願いいたします。(原田)



編集後記

すっかり寒くなってきました。今までほぼ雪のない地域で生活していたため、雪道の運転には不慣れで、川本の冬に今から戦々恐々としています。暖冬であることを祈るばかりです。今年が最後の発行となります。皆様良いお年をお迎えください。(石井)

